

科目区分	専門分野			科目番号	1407	曜日時間	
授業科目	老年看護学実習Ⅱ						
単位数	2 単位	時間	9 0 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	岡原 幸代 ・ 横手 理香						
授業目的	老年期の生活に機能障害が及ぼす影響を理解し、対象に応じた看護が実践できる基礎的能力を修得する。						
中核							
授業目標	1. 入院を余儀なくされる高齢者の特徴をふまえ、対象を全人的に捉えることができる。 2. 老年期の自立を妨げる要因をふまえ、今後の健康上の成り行きを予測することができる。 3. 慢性的な病と共にある老年期の対象に対し、QOLの視点を持った援助を実施できる。 4. 保健医療チームの連携の実際を知り、看護の機能と役割が理解できる。 5. 看護実践における自己の行動を振り返り、自己の課題を明確にできる。 6. 看護を学ぶものとして、ふさわしい態度を身につけることができる。						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	12日間	病棟の一日の流れと病棟の特徴を知る 潜在的問題と現象との関連についてとらえる 体内環境に問題のある対象の全体像を把握する 健康を障害した対象のライフサイクルを経過を理解する 回復するための必要条件からその人の思いをとらえる 自力で生活調整が困難な部分を理解する 生活の調整方法を理解する 継続したセルフマネジメントへの援助を行う 家族と連携した援助を行う 対象を支える家族への援助を実際の看護師の関わりから学ぶ カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報交換し理解を深める	臨地実習	90	各担当教員	病院90時間	
終了後課題	受け持ち患者に必要なレポート						
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価						
テキスト 参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	岡原：看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年 看護教員：学校勤務 6年 横手：看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年 看護教員：学校勤務 3年						
講義への反映	病院勤務の経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						